

平成26年度
新潟大学歯学部同窓会学術セミナーIIのご案内

在宅における食支援
～歯科衛生士の立場から～

平成26年度同窓会学術セミナーII「在宅における食支援～歯科衛生士の立場から～」のご案内をさせていただきます。現在の日本は、65歳以上の高齢者人口が過去最高の3,079万人と、超高齢社会となっています。さらに後期高齢者である75歳以上人口は1,519万人と総人口の約12%を占めるまでになります。そのため、歯科医療においては訪問診療のニーズがますます高くなることが予想されます。

今回は地域食支援グループ ハッピーリーブス代表である、歯科衛生士の篠原弓月氏をお迎えして、訪問診療における歯科衛生士の活躍の場についてご講演をいただきます。口腔ケアだけではなく、食支援や他職種との連携など、先生が実際に行われている活動内容についてお話をさせていただく予定です。歯科医師、歯科衛生士をはじめとして、訪問歯科診療に関わる全ての方々の日々の診療の参考に、また、新たな可能性の気づきの場としていただければ幸いです。

日 程	平成26年10月26日(日) 10:30～12:00
形 式	講義
会 場	新潟大学歯学部講堂（2階）
定 員	50名
参 加 費	3,000円（テキスト代を含む）
申し込み方法	4ページに記載
振り込み先	受講申し込み受付票に指定の口座
締め切り	平成26年10月3日(金)
問い合わせ先	同窓会学術(gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp)

※当日の申し込みはできませんのでご注意ください。

※申し込みが定員に達した場合は同窓会学術のホームページにてお知らせいたします。

※自家用車の駐車は医歯学総合病院の駐車場をご利用下さい。

※キャンセルの場合、基本的に受講料の返金はありません。ただし、代理出席は可能です。
受講者が変更になる場合には事前にご連絡ください。

主催：新潟大学歯科歯学部同窓会

在宅における食支援

～歯科衛生士の立場から～

私が歯科衛生士として在宅を訪問する活動を始めて11年になりました。2010年4月からは、新宿食支援研究会の実践部隊として管理栄養士とともに「地域食支援グループ ハッピーリーブス」を立ち上げ現在に至ります。ハッピーリーブスは「口から食べる喜びいつまでも」をモットーに、新宿区を中心として、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士が協働する食支援専門職グループです。介護保険の居宅療養管理指導に基づき、訪問サービスを提供しています。

歯科衛生士は口腔衛生管理、口腔機能のモニタリング、口腔機能や摂食嚥下機能のリハビリなどを担当し、管理栄養士は栄養状態のモニタリング、必要エネルギー量の換算、機能に合わせた食形態の決定などを担当、理学療法士はより安全に食べられる食事姿勢を調整したりそのためのリハビリを行います。食の専門職が協働することで、さらに効果が高まる症例を経験することができました。グループ内で他の職種にいつでも相談やアドバイスを受けられるのは、食支援グループの強みであります。

地域では必要に応じ多職種で食に対する問題点に対応する場合があります。関わっている在宅の主治医、歯科医師、訪問看護師、ケアマネジャー、介護職などと情報を共有しながら、在宅で安全に「口から食べる」楽しみを継続できるようにそれぞれが専門性を発揮しながら支援していきます。さらに歯科大学病院へ嚥下内視鏡検査（VE）を依頼して、食形態や食事介助方法、嚥下リハビリをご指導いただく機会もあります。

4年間の活動から地域で歯科衛生士への期待を強く感じます。1つは口腔のケアは、生きる喜びを感じていただけることです。2つ目は歯科衛生士が介護現場に介入し、医療と介護の連携の橋渡しの存在になれると期待されています。3つ目は病院から退院し地域での在宅生活に移行する際に在宅チームの一員となり連携する姿勢で活動することです。4つ目は終末期における適切な口腔のケアから利用者様、介護されているご家族にとってより良いお看取りにつなげることを期待されます。

在宅では、様々なことを求められます。具体的には要介護高齢者の背景にある、家族関係・要介護になられた疾患（廃用症候群・脳血管疾患・認知症・神経難病など）に対する理解やその他の全身疾患や内服薬の知識・経済力の配慮・人生の大先輩に対する敬意ある対応・高齢者や介護家族の想いに寄り添う姿勢などです。また地域では他の職種（在宅主治医・ケアマネジャー・訪問看護師・訪問リハビリ・訪問介護など）と連携を取る姿勢が求められます。

これらは、教科書通りにいくものではなく、利用者様や介護家族が求める関わり方を実際に生活の場を訪問し、歯科衛生士自身が経験し感じて、学ばせていただくものです。そしてその学びをまた地域に還元していくのだと思います。

この度は、実際の訪問依頼から、訪問までの流れや訪問の様子、退院時カンファレンス、サービス担当者会議への出席の様子などの活動内容を報告します。また歯科衛生士が食支援専門職として地域で他職種に何を求められ、何を発信していきたいかを事例を交えご紹介します。

講 師：

篠原 弓 月（しのはら ゆづき） 東京都出身

＜現 職＞

地域食支援グループ ハッピーリーブス代表

＜職 歴＞

1980年 東京医科歯科大学附属歯科衛生士学校卒業

1980年～1991年 東京通信病院歯科外来勤務

1994年～2009年 子育て休業後歯科健康管理センター、開業医などで非常勤

勤務をしながら練馬区において在宅訪問口腔ケアと特定高齢者介護予防事業の委託事業を担当

2009年～ ふれあい歯科ごとう非常勤

2010年～ 管理栄養士とともに「地域食支援グループ ハッピーリーブス」を立ち上げる
現在に至る

＜書 籍＞

講談社 かむ・飲み込むが難しい人の食事共著

「介助が必要な人の口腔ケア」の章

中央法規 口腔ケア〇と× 共著

秀和システム 介護スタッフのための安心！「食」のケア

ハッピーリーブス共著

＜学会活動等＞

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

日本歯科衛生士会在宅療養指導（口腔機能管理）認定歯科衛生士

日本歯科衛生士会摂食嚥下リハビリテーション認定歯科衛生士

タイムスケジュール：

10:00 受付開始

10:30 講演開始

質疑応答 10分程度

12:00 終了予定

申し込み方法

- * セミナー申し込み方法はメール（携帯メール可）での受付のみとなります。FAXによる受付は行いません。お間違いの無いようご注意ください。
- * メールの到着順に、定員内の方には「申し込み確認票」をメールにてご連絡致します。申し込み確認票に参加費の振込先及び入金期日を記載致します。入金期日までに参加費をご入金ください。期日までに入金がない場合にはキャンセルとして扱わせていただきます。
- * 定員外となった方は、自動的にキャンセル待ちとさせていただきます。定員外の場合にも、「キャンセル待ちのお知らせ」をメールにてご連絡致します。
- * 「申し込み確認票」もしくは「キャンセル待ちのお知らせ」がメール送信1週間後にも届かない場合には、何らかの問題でメールが届かないトラブルが考えられます。再度お申し込みいただきますようお願い致します。

以下の必要事項を同窓会学術アドレス（gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp）にメールにてご連絡ください。メールのタイトルは「同窓会学術セミナー申し込み」としていただきますようお願い致します。

必要事項

氏 名：

出身大学：

何 年 卒：

住所(含郵便番号)：

電話番号：

メールアドレス：